

創立90周年 須賀栄子記念講堂

盛大に完成祝う

750座席の大ホール

昭和六十五年の十一月に創立九十周年を迎える本学園が、その記念事業の一環として、昨年四月から工事を進めてきた、創立者を顕彰する「須賀栄子記念講堂」がこのほど完成しました。すでに調理科父兄の試食会、県内外校長入試説明会、家政科の着付け教室など学内の各種行事に使われていますが、十月二十日には全国中学校長大会の会場にも予定されており、そのすばらしい施設設備に大きな期待が寄せられています。席して厳かに完工を祝って会場にも予定されており、そのすばらしい施設設備に大きな期待が寄せられています。



修祓式でありさつする須賀校長先生

音響効果も抜群



式に参列した生徒代表

学園充実へさらに前進

校長 須賀 淳

明治三十三年、私の祖母須賀栄子によって創設されました本学園は、昭和六十五年に創立九十周年を迎えます。この間職員生徒、卒業生および御父兄の皆様が丸ごととなって学園の発展に尽力してこられました。この記念講堂は、昨年三月に旧講堂を取りこわし、そこの跡地に一年六か月の歳月を費して建設されたもので、この間職員生徒、卒業生および御父兄の皆様が丸ごととなって学園の発展に尽力してこられました。



発行所
宇都宮短期大学附属高校
編集委員会
宇都宮市睦町1番35号
印刷所
坂本共栄社印刷所

須賀栄子記念講堂 完成特集号

その席でありさつに立たれた須賀校長先生は「かつて旧講堂のあった、このゆかりの地に皆さんのご協力により、このような立派な講堂ができました。これからは、施設設備の充実を図るとともに、教育内容の向上に努め、皆さんとともに立派な学園にしてい

「これはすごい」と感動の声

県下中学校長 入試説明会の学園見学で口々に

各中学校の校長先生がたに昭和六十四年度高校入試の内容を説明する会合が九月十三日午前十一時から完了したばかりの「須賀栄子記念講堂」の小ホールで開かれました。今回は出席者百三十五名

また二階から四階は大ホール（七百五十座席）で、ステイジは幅十四・五メートル、奥行き九メートルと、一年六か月の工期と十億円の工費をかけて完成しました。鉄筋コンクリート造り、地上四階、総延べ床面積二千七百五十三平方メートル。一階は南、北、西の三方面に入り口があり、多目的に使用される小ホール（机とイスを入れて三百人、イスのみでは五百人収容で、ステージは上下架動式）や大理石のロビーがあります。

四年度の入試についてご説明申し上げますとともにこの程完成し、又、この日がいよいよ記念講堂を「とちぎの味」のほかに、本校から4人入選



調理科生の昼食を試食



1階ロビーから講堂内部を見学する校長先生たち

舟岡さんが大賞を受賞

「とちぎの味」本校から4人入選

「食と緑の博覧会」のキッチンフリーズで、いま、イートピアとちぎが開かれています。その協賛事業として行われた「とちぎの味料理コンクール」主催の観光協会、食と緑の博覧会委員会）で最高の「とちぎの味大賞」に家政科三年十組、舟岡高美さんが選ばれたのをはじめ、最優秀賞、努力賞など四名が入選しました。入選したのは大賞の舟岡さんが「湯波菓子」、最優秀賞の家政科三年七組、とうございました。

- 舟岡さん
- 植木さん
- 阿部さん
- 橋本さん

このコンクールは、栃木県の豊かな食料資源を活用した新しい味の発見と特色ある郷土料理の開発をねらいとしたものです。県内各地から一般、学生生徒などから二百五十一名もの応募がありました。見事大賞を獲得した舟岡さんの作品は裏ごししたサツマイモ、カボチャとバターであえたピーナッツを湯波でくるみ、口を本県特産のカンピョウで結んだものを油であげたのです。上手に本県の特産品を利用した発想が評価されたのでしよう。おめでとうございました。

「立派なものだ」などの声があちらこちらから聞かれました。そのあと、須賀校長先生と大島教務部長先生から学校の現況や次回の入試では生活教養科が国語、社会、英語（各四十分）、情報商業、調理、音楽の各科が国語、数学、英語（各四十分）のそれぞれ三科目となり、いずれも面接が新たに加わること、また普通科はこれまで通りですが、入試日は二月一日音楽科の実技試験、二日生活教養、情報商業、調理、音楽各科の学科試験、三日普通科女子、四日同男子の各学科試験となったことなどの説明がありました。昼食には調理科三年生が青柳勇次郎先生のご指導で腕を振るった日本食の試食をしていただき、食後のひととき音楽科三年田沼友子さんのバイオリン独奏「カルメン幻想曲」のほかソプラノ独唱やピアノ独奏を披露し拍手を浴びました。柳田明・一条中学校長先生が「授業や施設を見せていただきありがとうございました。すばらしい教育環境の中で、一人一人の個性を伸ばす教育、生徒を大事にするめんどう見のよい学校としての成果を上げていくことに感謝いたしました。とくに施設の増設など設備の充実に向けて努力しているのを拝見し、今後ますます安心して生徒を送りたい」と参加者を代表して感想をのべられました。

